

交通安全施設（歩道設置）に関する請願書

紹介議員

榎 田 勉

1. 請願の趣旨

市道吉尾・千草線と市道金田通線の交差点（上金田地区）区間の歩道設置について

2. 請願の理由

上記区間においては車道と民地（ブロック塀）までの間隔がなく交通量の増大により朝、夕の通学生や地域住民は交通事故、車の出し入れに毎日危険な状況で一日も早い設置を望むところであります。

以上のとおり地方自治法第124条により請願書を提出いたします。

平成27年9月4日

住所	都城市金田町	
請願者	上金田公民館長 井上 徳 輔	
住所	都城市金田町	
地域代表	星 原 勝	

都城市議会議長

永 山 透 様

請願理由

以前、県道財部、庄内、安久線道路改良工事に伴い、市道吉尾・千草線との交差点改良工事については、県が市道側一筆を用地買収し県としては、工事完成を見ております、事前協議において別紙のとおり市も交差点協議(滞留長 30m、減速長 20m、本線シフト長 35m)で 85m については了承されていることと思います。

現状では、県道交差点から、市道金田通線の交差点までの区間においては、路側帯(白線)から民地のブロック塀までは 1m 弱で通行車両との間隔がなく朝、夕の通学生や地域住民は毎日危険な状況でありますので下記の理由により陳情いたします。

1. 子供の通学路になっており、民生児童委員及びボランティアの方が引率されて通学しているが、雨の日、車の風圧により傘が飛ばされたり、大型自動車の風圧により体がよろけたりしたことが数回あるなど、いつ重大事故が発生してもおかしくない状況であります、又中学生、高校生等は自転車通学及び高専の生徒はバイク通学生もおおり大変危険な状況にあります、近年全国でも通学生の列に車が飛び込み死亡事故も多発している状況で、この路線においても、いつ事故が発生するか心配である。
2. 住宅が密集しており、宅地からの出入りについて車道まで車の先端が出ないと左右の確認が出来なくすでに車の接触事故等も発生している。

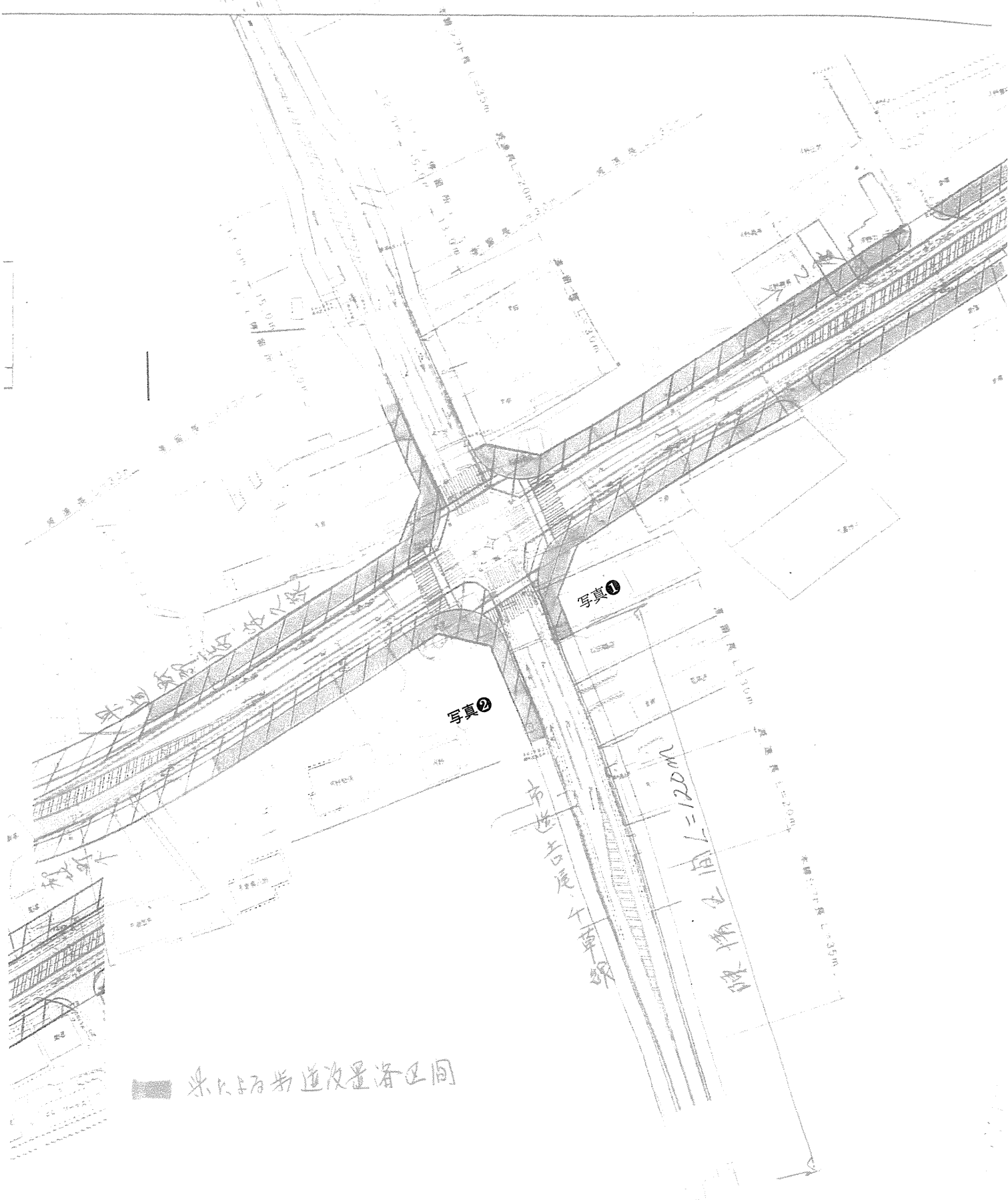
特に県道財部、庄内、安久線と市道金田通線の間約 150m の交差点間は信号が変わる直前及び黄色信号での進入車がかんりのスピードで通過していくので白

線まで出ていると身の危険を感じる状況にあります。

3. 朝、夕の通勤時は通行量が多く信号も一回で通り抜け出来ないときもあり、交差点内まで停車する状況であります。更に県道側の右左折車両があり運転者のいらいらが見られ、注視しているとスピードを出す運転者もあり歩行者や車の出入りで危険を感じる。
4. 医師会病院等の移設により、さらに交通量が増大し、特に緊急車両等の通行時には一般車両はブロック塀ぎりぎりまで徐行しなければならず通学生、一般住民の重大事故の発生は早かれ、遅かれ発生するのではと危惧しているところであります。
5. 写真のように歩道が途中で途切れていてこの自歩道から、自転車等で市道に出るときに危険である。以上のような事情から、重大事故等が発生した場合のこと等を考えると一日も早い議会の対応をお願いいたしたく関係住民一同において一日も早い歩道の設置をお願い致します。

関 係 地 権 者		
氏 名	住 所	
松 田 恵 三	都城市金田町	
星 原 勝	都城市金田町	
有 川 富 士 夫	都城市金田町	
瀬 戸 山 杉 夫	都城市金田町	
山 内 芳 文	都城市金田町	
山 内 哲 矢	都城市金田町	
長 倉 喜 一 郎	都城市金田町	
中 村 辰 巳	都城市金田町	
中 村 隆 夫	都城市金田町	
中 村 町	都城市金田町	
中 村 重 美	都城市金田町	

米川橋



米川橋

米川橋